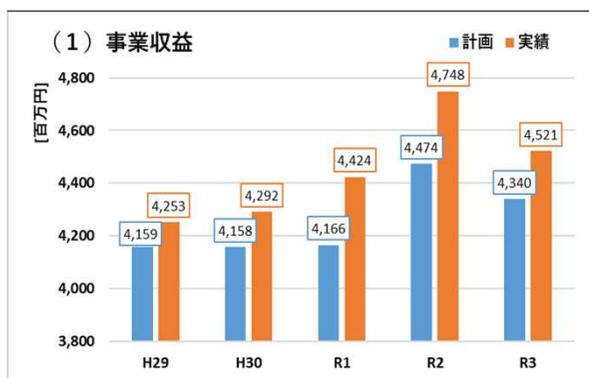
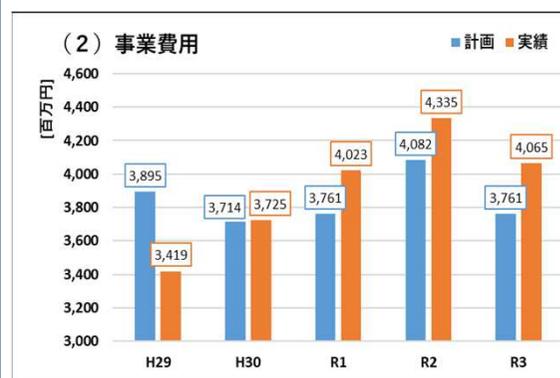


1. 財務の状況(4事業合計) ※R3数値は決算見込み額



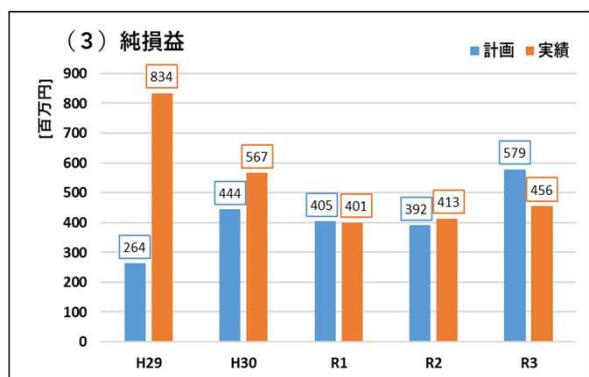
【主な実績】

- ① 売電料金単価増額 (kWh当たり)
H29 : 8.50円
H30~ : 8.51円
R2 ~ : 8.94円
- ② 発電機オーバーホールに合わせた「特別修繕引当金」取崩し



【主な実績】

- ① H29 撤去工事の延期
- ② H30~ ①の影響に加え、オーバーホール工事価格の高騰



【主な実績】

- ① H29 撤去工事延期による純利益増
- ② H30~ 毎年度4億円以上の安定した純利益を確保



【主な実績】

- ① R2 調査・診断結果による工事の見直し
- ② 計画に比べ、堅調に推移
- ③ R3年度末では、計画より11億円の上積み

※各数値は、H29比較の増減値

【 総 括 】

工事価格の高騰等、事業費用の増加はあるものの、売電料金の単価UPに加え計画的に積み立てていた「特別修繕引当金」を活用し、安定経営を維持。

内部留保資金も計画より11億円を上積みし、総額197億円を確保。

2. 取組実績

進行管理表評価結果

年度	項目数	評 価				C評価項目と概要
		A	B	C	D	
H29	61	47	13	1	0	○ 地域が進める森づくりを支援 KPI：100ha/年，実績：30.54ha
H30	61	49	11	1	0	○ 地域が進める森づくりを支援 KPI：100ha/年，実績：89.52ha
R1	61	52	7	2	0	○ 廃止発電所，砂防堰堤などを活用した実証モデルの導入・検討 KPI：機器設置，実績：「小水力発電事業化プラン協働推進事業」に着手 ○ 地域が進める森づくりを支援 KPI：100ha/年，実績：63ha
R2	51	42	7	2	0	○ 川口エネ・ミューを活用した見学会等の実施 KPI：体験者数17,800人/年，実績：6,535人 ○ 駐車場利用者の利便性等を図り，利用台数を確保 KPI：20万台以上/年，実績：98,741台
R3	51	43	7	1	0	○ 駐車場利用者の利便性等を図り，利用台数を確保 KPI：20万台以上/年，実績：124,051台

3. 取組の効果

社会貢献 の加速

- 川口エネ・ミューにおける様々なイベントの実施により、累計約7万8千人が来館し、自然エネルギーの普及啓発と地域のにぎわいづくりに貢献
- 川口ダム湖でのドイツ・カヌーチームの「東京オリ・パラ」事前キャンプのレガシーを未来に継承するため、ウォータースポーツの拠点化により、地域の観光交流に貢献
- 地元自治体等による累計842haに及ぶ公有林化のほか、倒木対策等の森林整備への支援により、水源地域の環境保全に貢献



自然エネルギー
探検隊



東京オリ・パラ
事前キャンプ

安全安心 の確保

- 緊急性の高いエ水管路8.4kmの耐震化がほぼ完了したほか、浄水場の浸水対策や防災備蓄倉庫の整備により、強靱な供給体制を構築
- 所管設備の保守管理等にIoTやドローンなど新技術の導入により、コロナ禍などいかなる状況下においても業務継続を図る体制を構築
- BCPや応援協定等の適時見直しを実施するとともに、防災訓練や事故復旧訓練を重ねることにより、発災時において、迅速に事業復旧が可能となる体制を構築



管路の耐震化



日野谷発電所
サージタンク点検

ドローン

経営力 の強化

- 再生可能エネルギーとしての環境価値の高まりを背景に、粘り強く交渉を重ねることにより、売電料金の大幅な増額を実現
- 長安ロダムにおける出水時の取水量を弾力的に運用することにより、日野谷発電所の発電能力の最大活用を実現
- 利用者アンケート結果を踏まえ、キャッシュレス化や照明のLED化の実施により、駐車場の利便性や安全安心の向上を実現



日野谷
発電所



精算機の
キャッシュレス化